

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道375号 御園宇バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県東広島市西条町田口 至：広島県東広島市西条町吉行			延長	6.5 km	
事業概要	<p>一般国道375号は、広島県呉市を起点とし島根県大田市に至る延長約179kmの幹線道路である。 御園宇バイパスは、交通混雑緩和及び交通安全の向上を目的とした延長6.5kmの4車線道路である。</p>					
S63年度事業化	S58年度都市計画決定	S63年度用地着手	H元年度工事着手			
全体事業費	約22.5億円	事業進捗率	90%	供用済延長	4.8 km	
計画交通量	10,000～18,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	(事業全体) 2.8	(残事業)/(事業全体) 18/32.3億円 事業費：17/31.4億円 維持管理費：1/9億円	(残事業)/(事業全体) 105/91.6億円 走行時間短縮便益：100/877億円 走行費用減少便益：4/33億円 交通事故減少便益：1/6億円	平成18年		
費用対効果分析結果	(残事業) 5.8					
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施					
	交通量変動：B/C = 6.3 (交通量+10%)		B/C = 5.2 (交通量-10%)			
	事業費変動：B/C = 5.2 (事業費+10%)		B/C = 6.4 (事業費-10%)			
事業の効果等	新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる。					
	主要な観光地へのアクセス向上が期待される。				他6項目に該当	
関係する地方公共団体等の意見	一般国道375号は、高速交通ネットワークへのアクセス道路として、さらには生活道路として、沿線地域の社会活動、住民活動に極めて重要な役割を担っている。しかしながら、近年の交通量増大に伴い朝夕の交通渋滞が慢性化しており、早期完成について国道375号整備促進広島県期成同盟会より要望（平成18年7月25日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	東広島市・黒瀬町・福富町・豊栄町・河内町・安芸津町が平成17年2月7日に合併し、当該路線は新市建設計画の主要施策（総合交通体系の整備）に位置付けられている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	バイパス区間L=4.8kmは平成17年3月31日に全線（暫定2車線）供用し、現道の渋滞緩和等大きな整備効果があった。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成18年度からは、特に渋滞が深刻な終点側（山陽自動車道西条IC）現道拡幅区間L=1.1kmの整備に着手し、早期完成を図る。					
対応方針	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。